

## 4. 自分のこと

### <自己への評価>

問8 あなた自身のことについてお聞きします。

- (1) あなたは自分のことが好きですか。一つ選んでください。

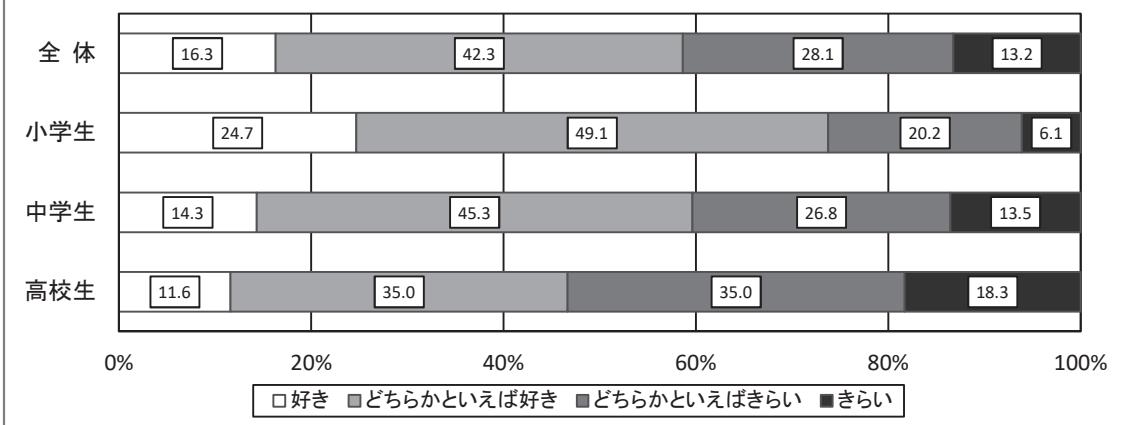
#### 【全体集計結果】

自分が好きかどうか尋ねたところ、「どちらかといえば好き」が42.3%で最も高い。「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた『好き』は、58.6%となっている。

#### 【学校種別集計結果】

『好き』を見てみると、小学生が73.8%で最も高く、以下、中学生(59.6%)、高校生(46.6%)となっている。

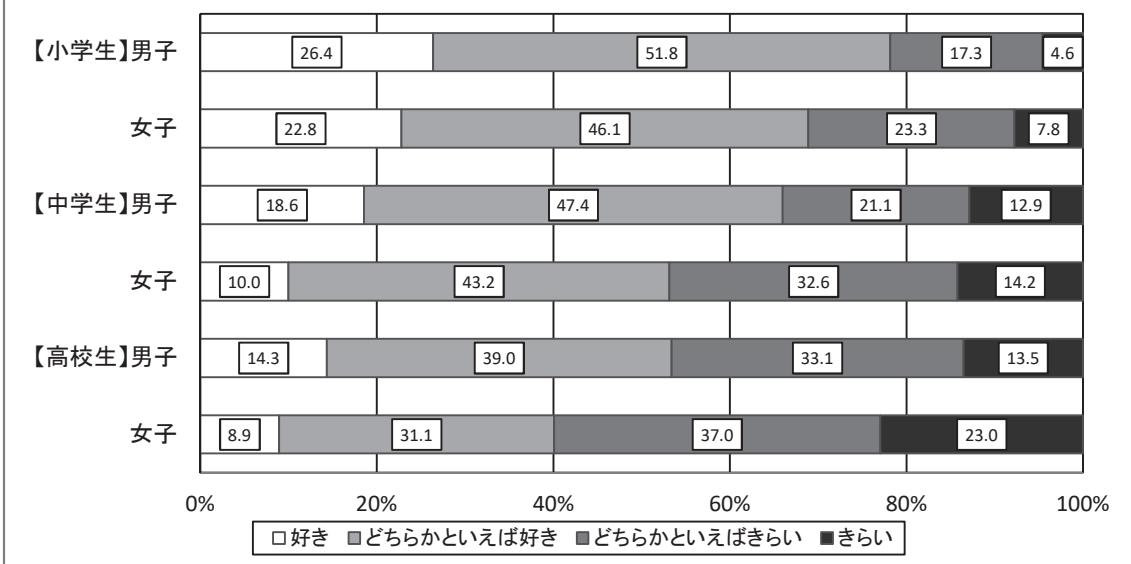
図13-1 自己への評価(N=1,269)



#### 【属性別集計結果】

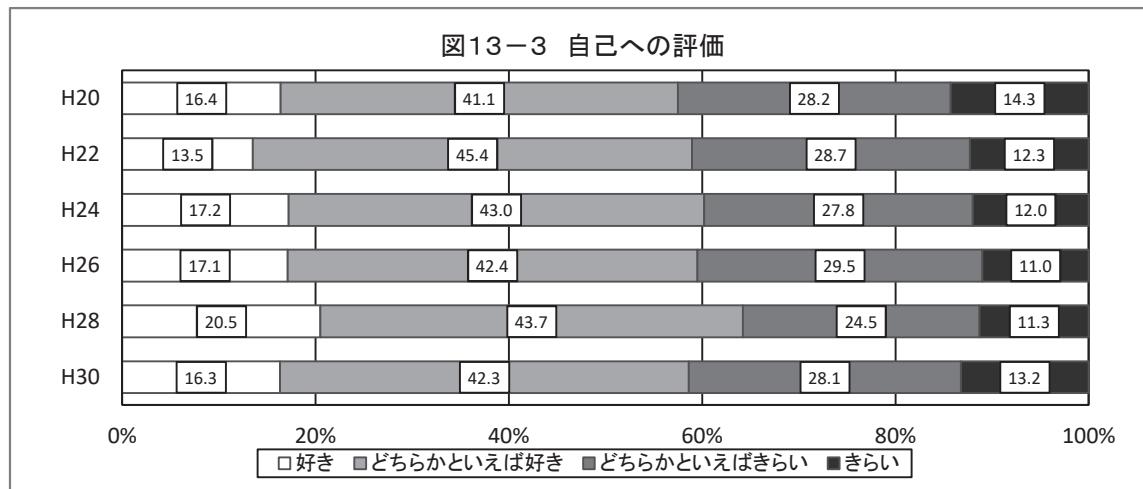
『好き』を見てみると、小学男子が78.2%で最も高い。また、小学生、中学生、高校生のいずれも、男子のほうが女子よりも高い。

図13-2 自己への評価(N=1,269)



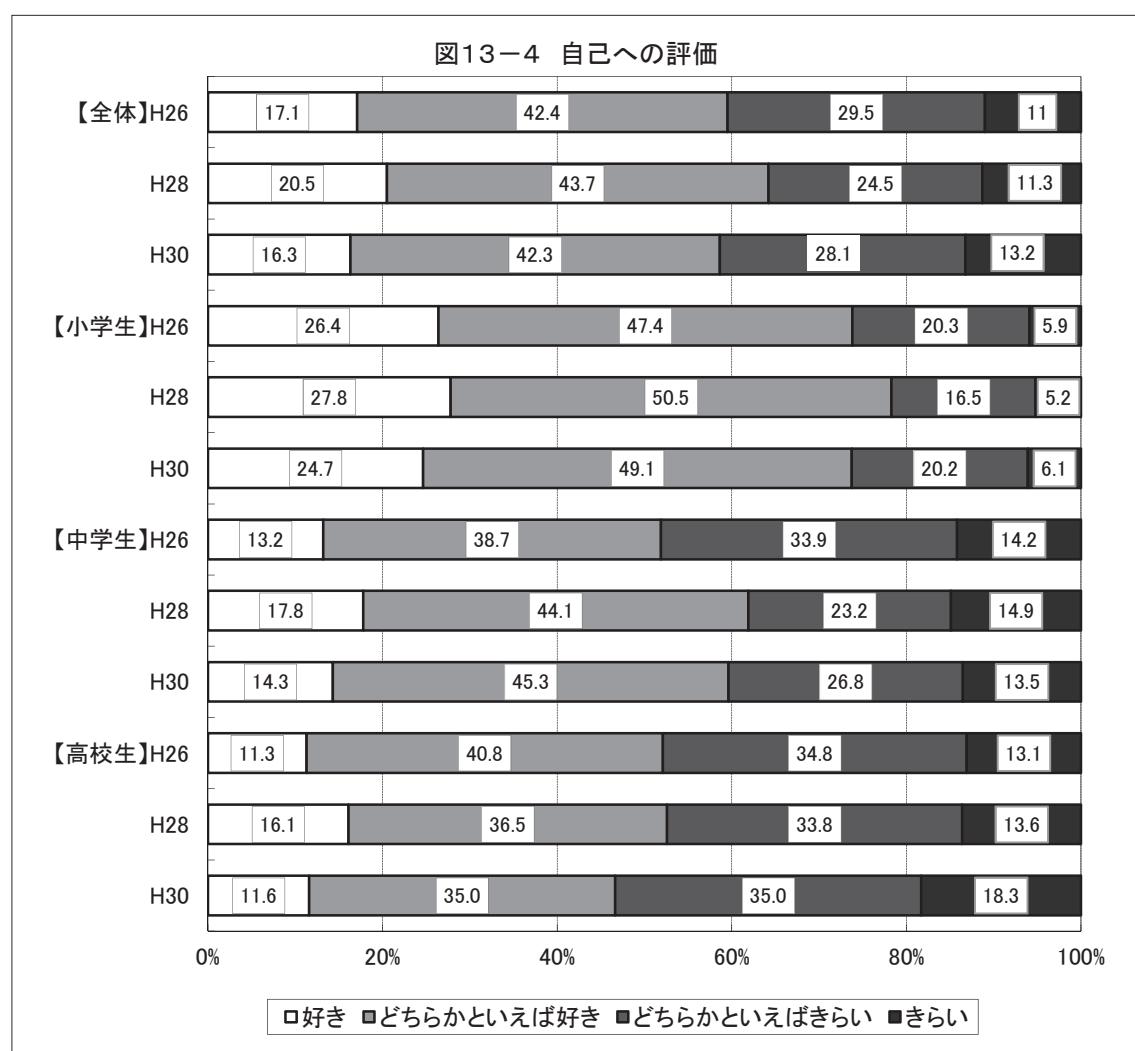
### 【経年変化】

『好き』については、28年度は64.2%であったが、それ以外の年度では、約60%となっている。



### 【時系列比較(平成26年度・28年度調査と30年度との比較)】

『好き』については、小学生、中学生及び高校生ともに28年度調査より減少している。



## <自己への評価(性格など)>

(2) あなたは、きまりやルールをきちんと守るほうですか。一つずつ選んでください。

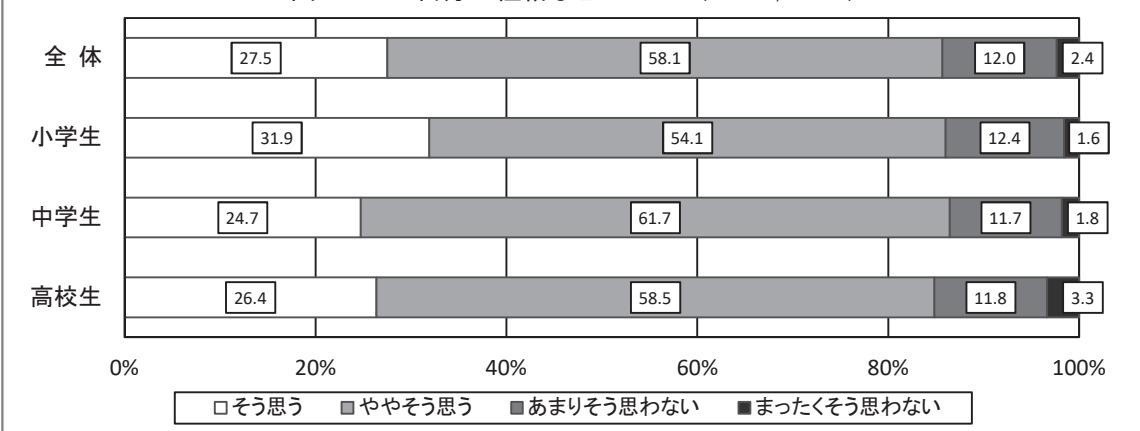
### 【全体集計結果】

きまりやルールをきちんと守るほうかどうかを尋ねたところ、「ややそう思う」が58.1%で最も高い。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『そう思う』は、85.6%となっている。

### 【学校種別集計結果】

『そう思う』を見てみると、中学生が86.4%で最も高く、以下、小学生(86.0%)、高校生(84.9%)となっている。

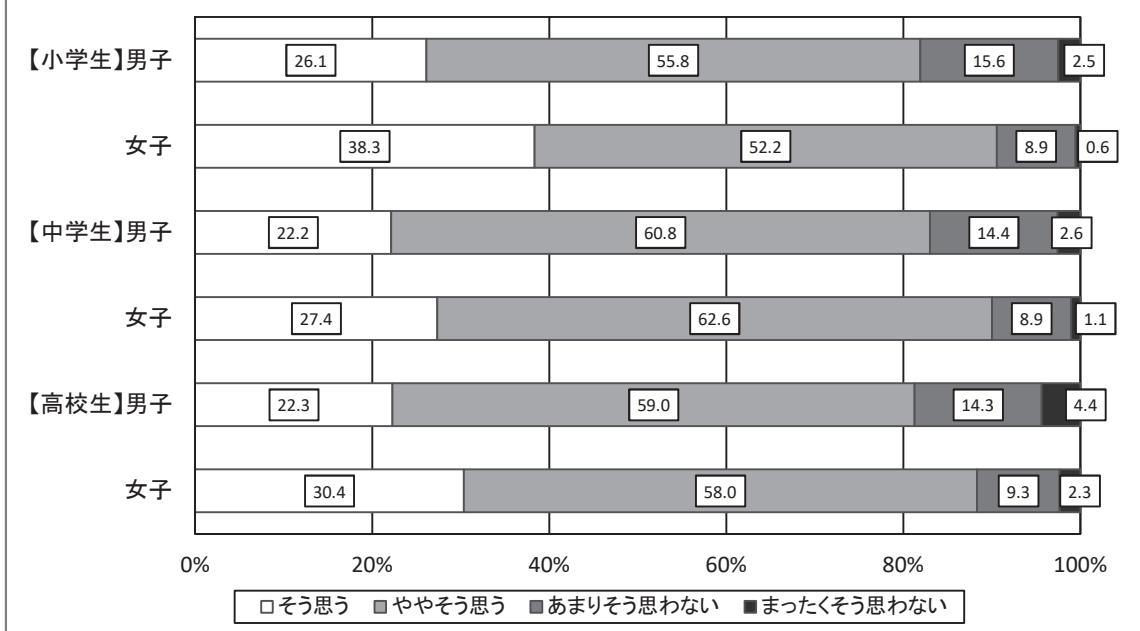
図14-1 自分の性格などについて(N=1,271)



### 【属性別集計結果】

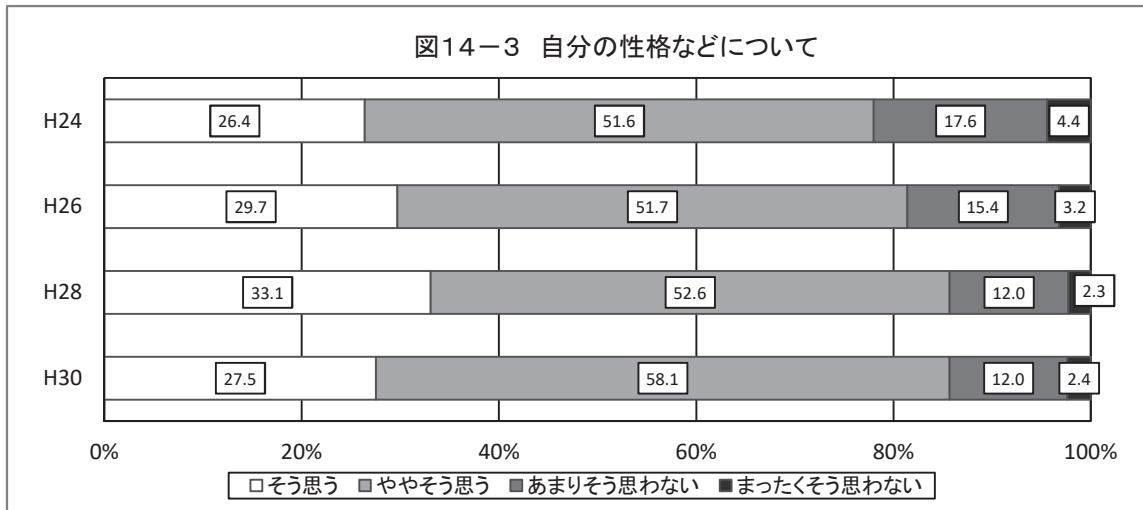
『そう思う』を見てみると、小学女子が90.5%で最も高い。また、小学生、中学生、高校生のいずれも女子のほうが男子よりも高い。

図14-2 自分の性格などについて(N=1,271)



## 【経年変化】

『そう思う』については、30年度は28年度調査とほぼ同様となっている。



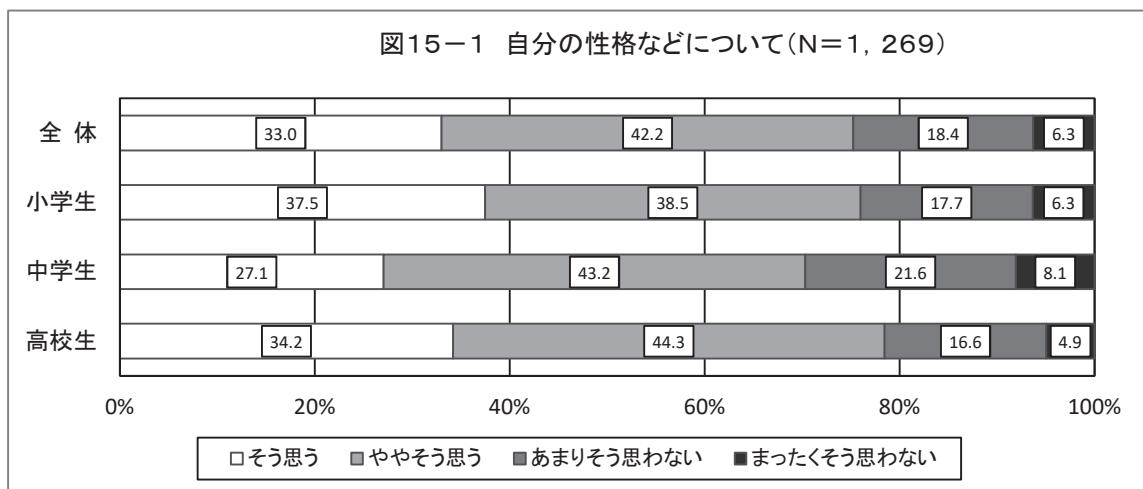
- (3) あなたは、自然の素晴らしさにふれると感動するほうですか。一つ選んでください。

## 【全体集計結果】

自然の素晴らしさにふれると感動するかどうかを尋ねたところ、「ややそう思う」が42.2%で最も高い。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『そう思う』は、75.2%となっている。

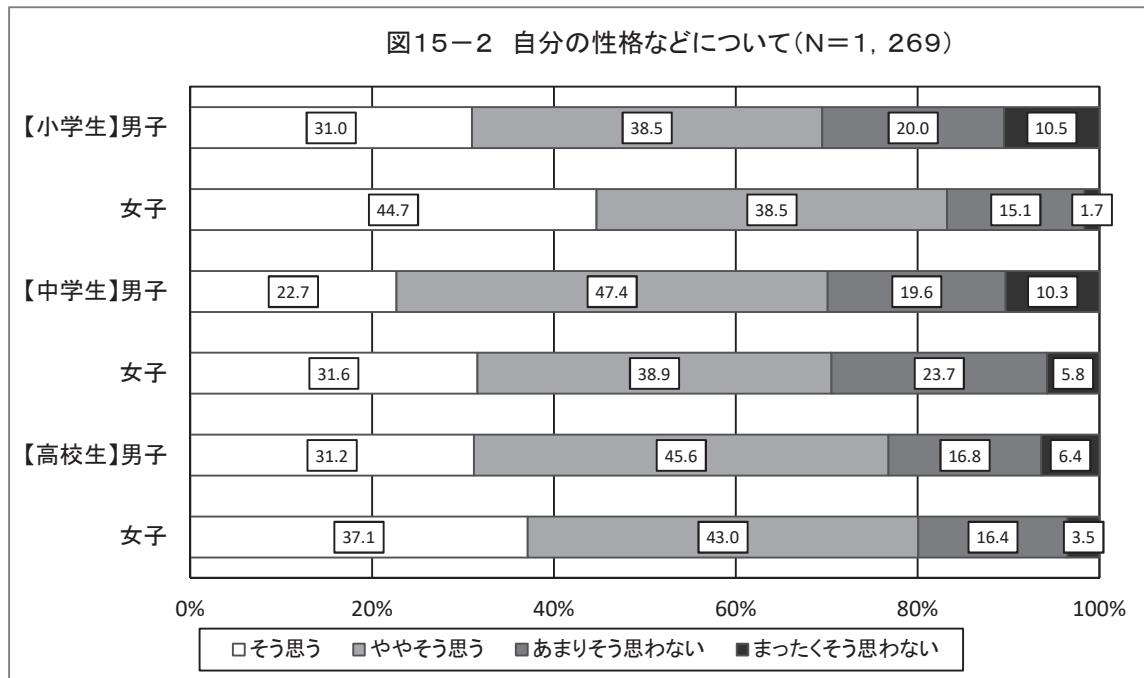
## 【学校種別集計結果】

『そう思う』を見てみると、高校生が78.5%で最も高く、以下、小学生(76.0%)、中学生(70.3%)となっている。



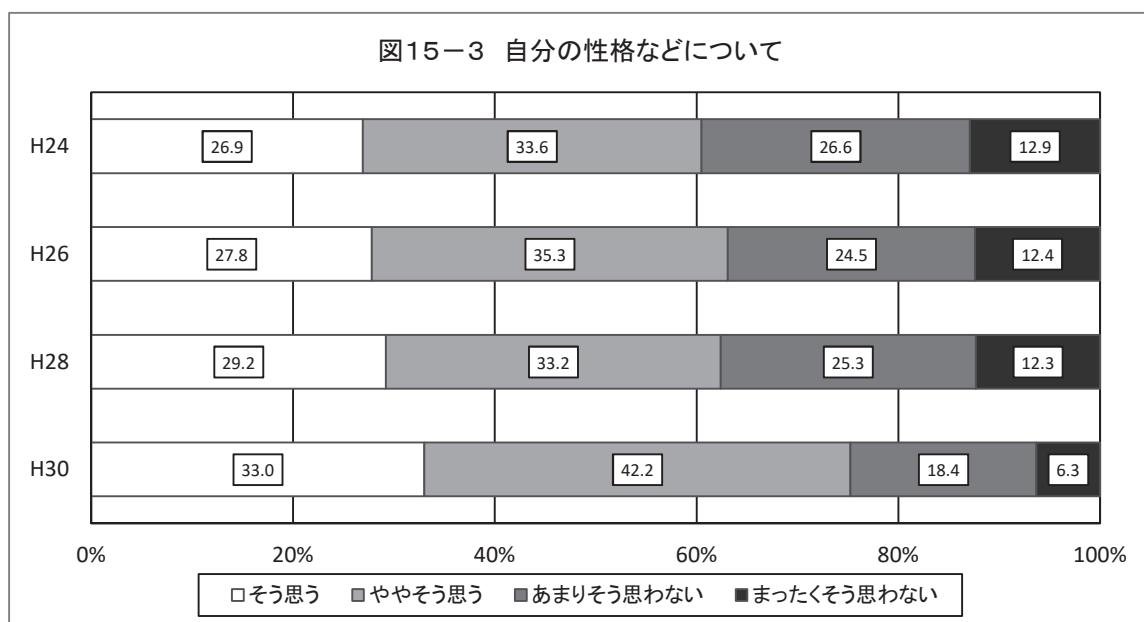
### 【属性別集計結果】

『そう思う』を見てみると、小学女子が83.2%で最も高い。また、小学生、中学生、高校生のいずれも、女子のほうが男子よりも高い。



### 【経年変化】

『そう思う』については、30年度は28年度調査より12.8ポイント増加している。



(4) あなたは、映画や音楽、美術作品を鑑賞して感動するほうですか。一つ選んでください。

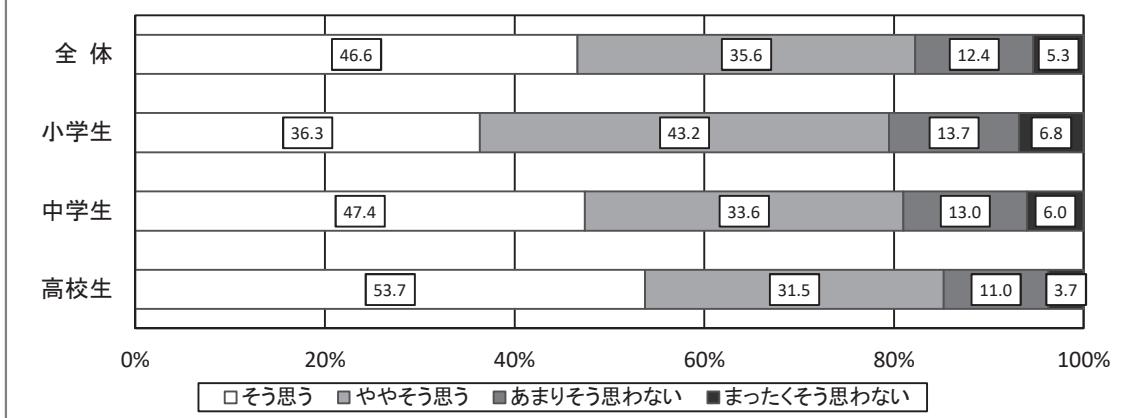
#### 【全体集計結果】

映画や音楽、美術作品をみて感動するかどうかを尋ねたところ、「そう思う」が46.6%で最も高い。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『そう思う』は、82.2%となっている。

#### 【学校種別集計結果】

『そう思う』を見てみると、高校生が85.2%で最も高く、以下、中学生(81.0%)、小学生(79.5%)となっている。

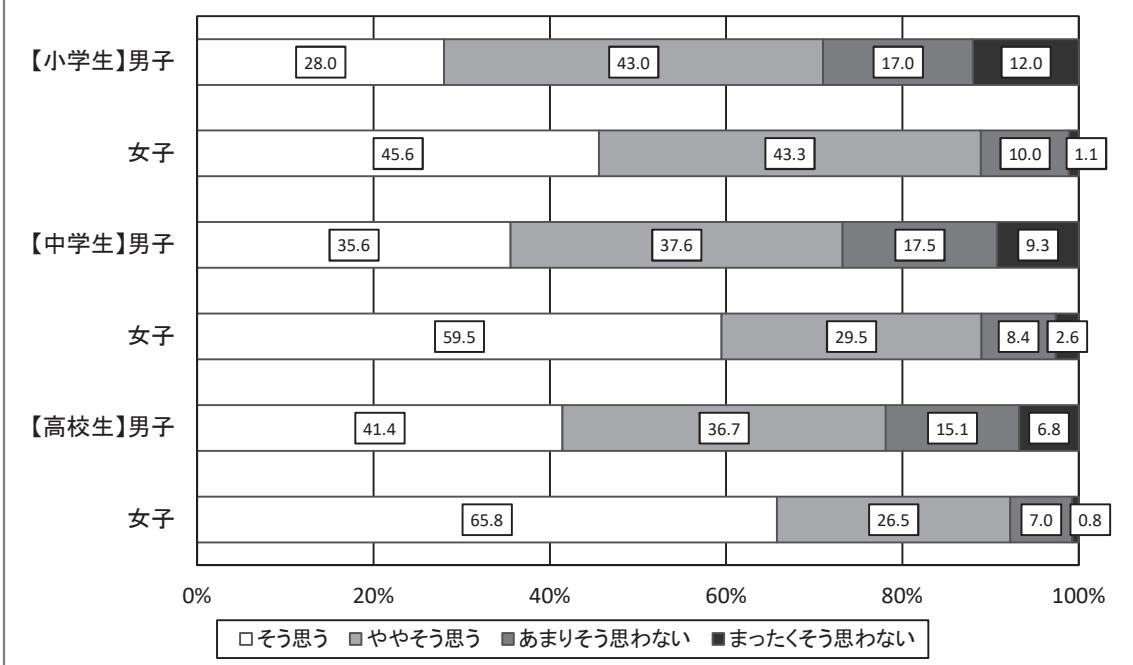
図16-1 自分の性格などについて(N=1,272)



#### 【属性別集計結果】

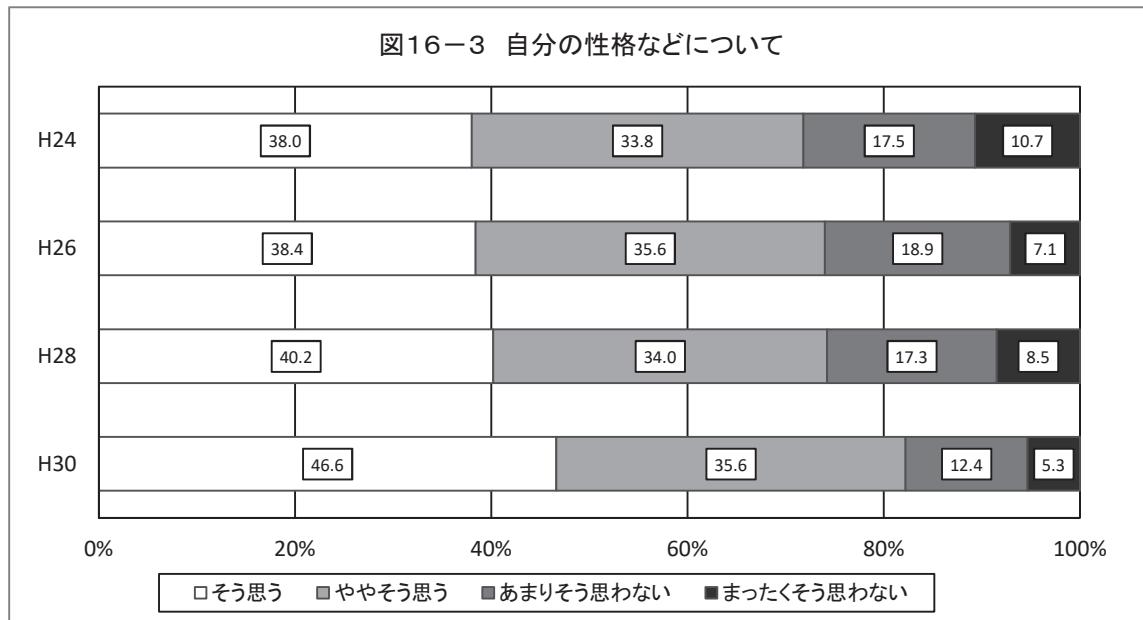
『そう思う』を見てみると、高校女子が92.3%で最も高い。また、小学生、中学生、高校生のいずれも、女子のほうが男子よりも高い。

図16-2 自分の性格などについて(N=1,272)



### 【経年変化】

『そう思う』については増加傾向にあり、30年度は28年度調査と比較すると8ポイント増加している。



## <自身への思いやり>

問9 あなたは、自分自身を大切にしていますか。一つ選んでください。

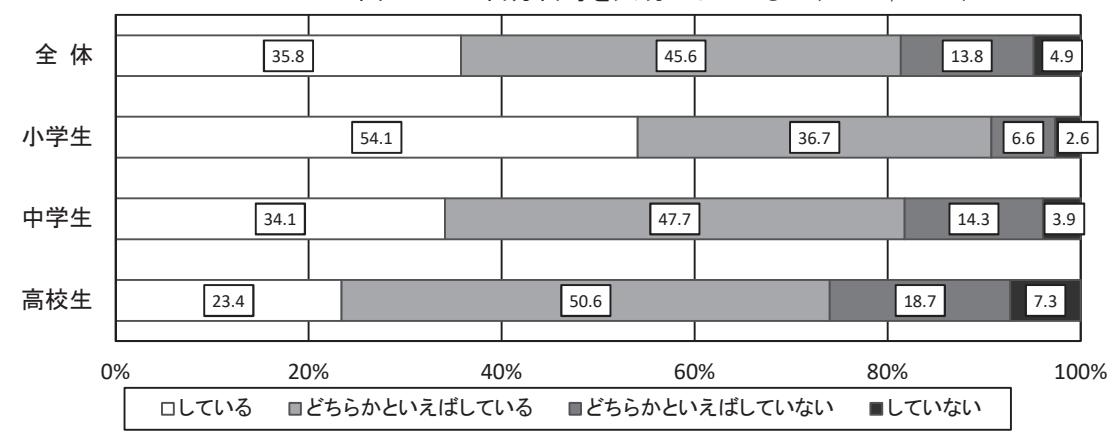
### 【全体集計結果】

自分自身を大切にしているかどうかを尋ねたところ、「どちらかといえばしている」が45.6%で最も高い。「している」と「どちらかといえばしている」を合わせた『している』は、81.4%となっている。

### 【学校種別集計結果】

『している』を見てみると、小学生が90.8%で最も高く、以下、中学生(81.8%)、高校生(74.0%)となっている。

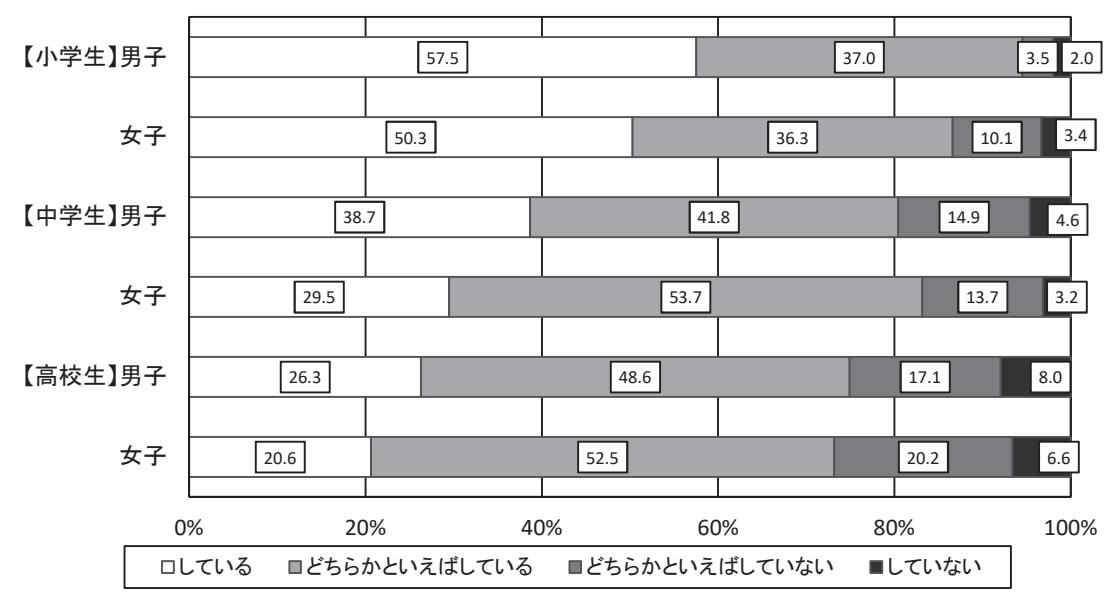
図17-1 自分自身を大切にしているか(N=1,271)



### 【属性別集計結果】

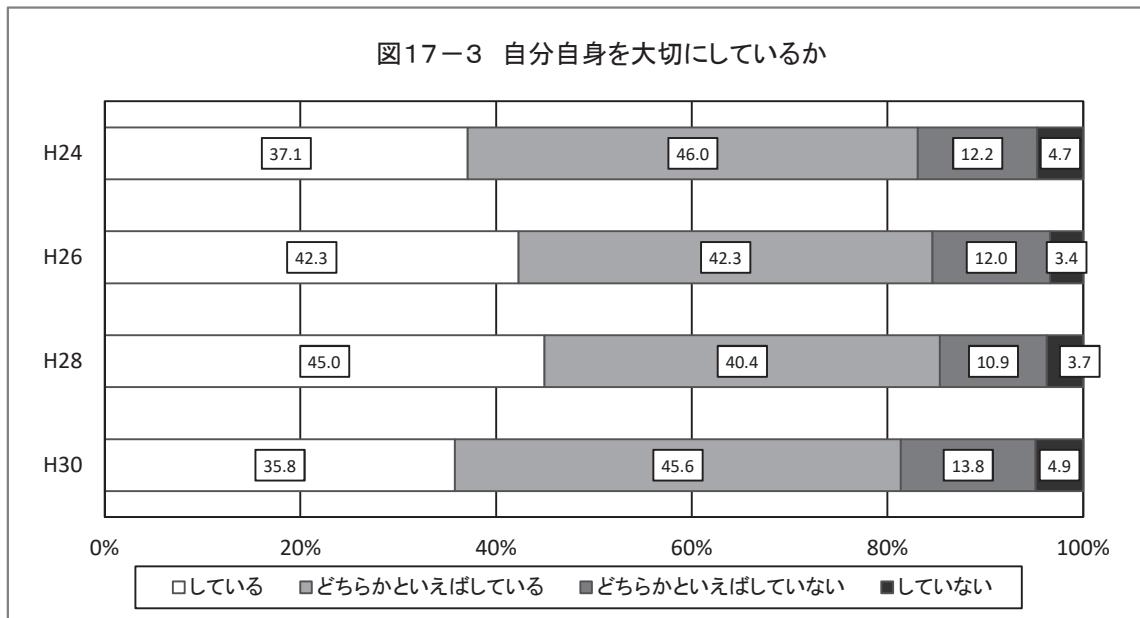
『している』を見てみると、小学男子が94.5%で最も高い。また、中学生では女子のほうが男子よりも高く、高校生では男子のほうが女子よりも高い。

図17-2 自分自身を大切にしているか(N=1,271)



## 【経年変化】

『している』について、30年度は28年度調査と比較すると、4. 0ポイント減少している。



## <他人への思いやり>

問10

あなたは、他人に対して思いやりをもって接するよう心がけていますか。一つ選んでください。

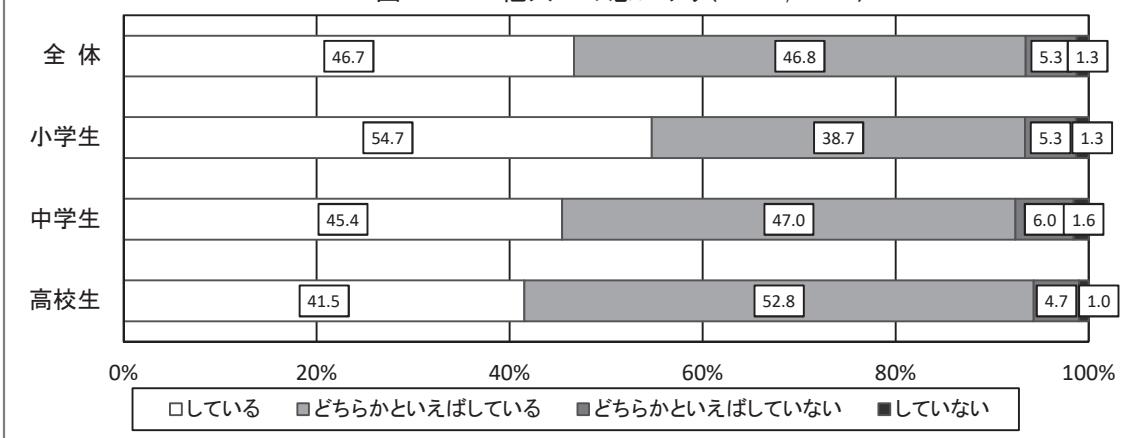
### 【全体集計結果】

他人に対して思いやりをもって接するよう心がけているかどうかを尋ねたところ、「どちらかといえればしている」が46.8%で最も高い。「している」と「どちらかといえればしている」を合わせた『している』は、93.5%となっている。

### 【学校種別集計結果】

『している』を見てみると、高校生が94.3%で最も高く、以下、小学生(93.4%)、中学生(92.4%)となっている。

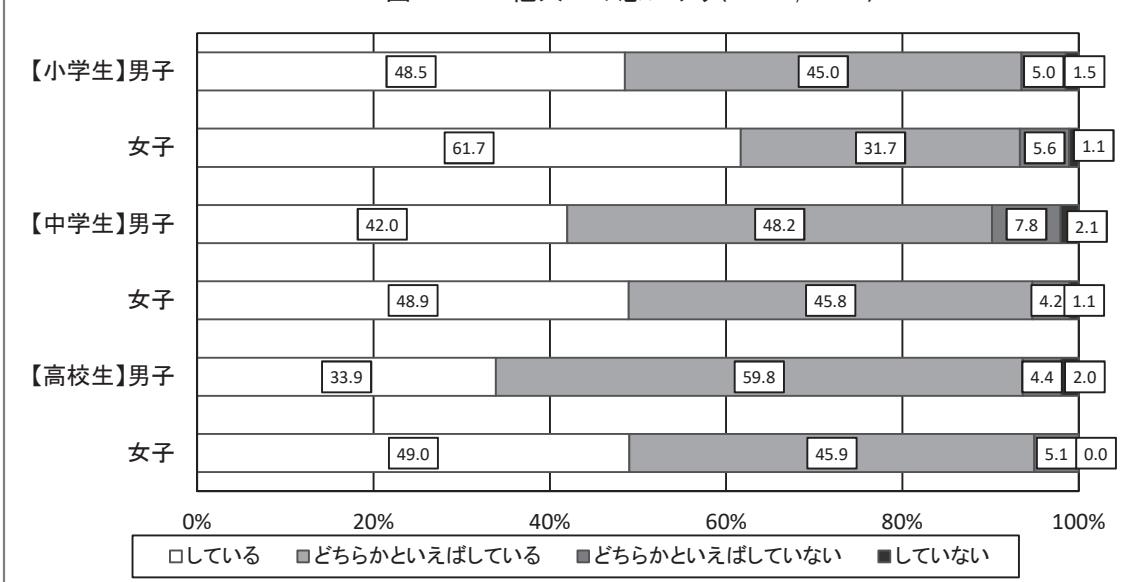
図18-1 他人への思いやり(N=1,271)



### 【属性別集計結果】

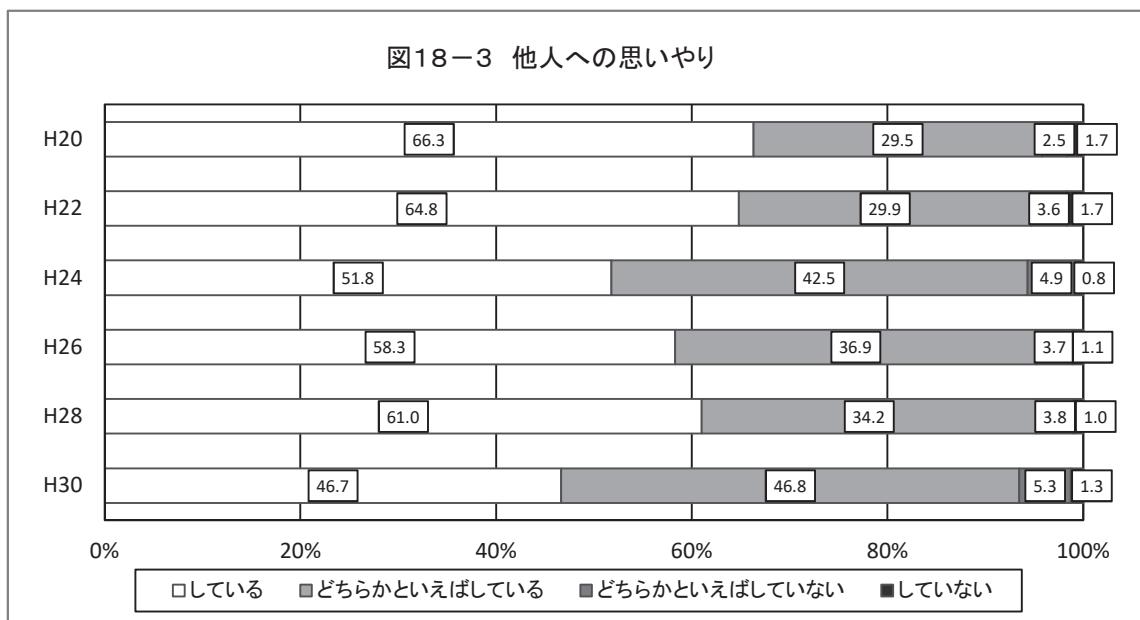
『している』を見てみると、高校女子が94.9%で最も高く、全ての属性において90.0%を超えている。

図18-2 他人への思いやり(N=1,271)



## 【経年変化】

『している』について、おおむね95%前後で推移している。



## <命について>

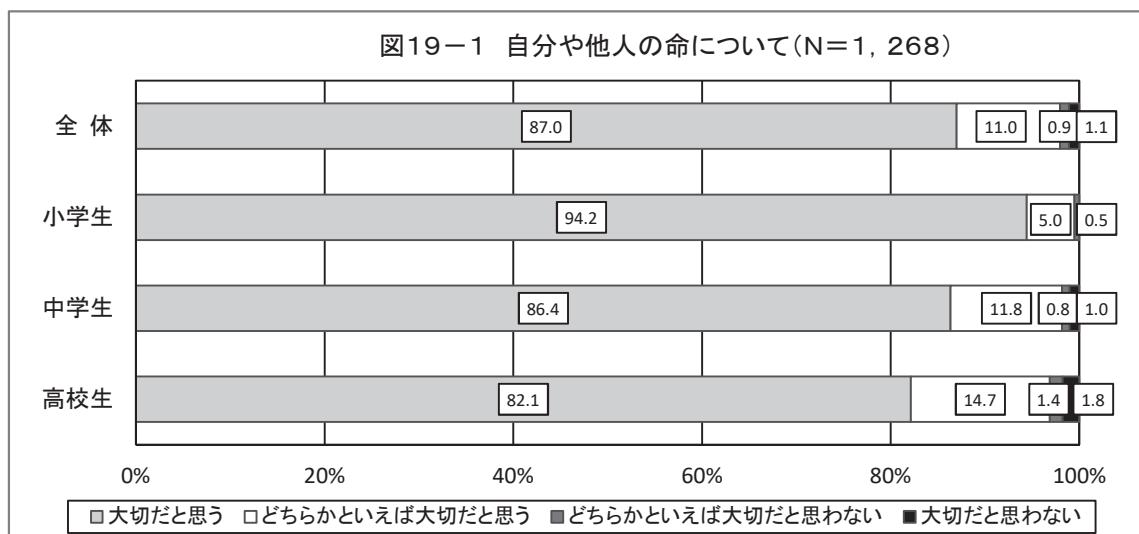
問11 あなたは、自分や他人の命についてどう思いますか。一つ選んでください。

### 【全体集計結果】

自分や他人の命をどう思うかについて尋ねたところ、「大切だと思う」が87.0%で最も高い。「大切だと思う」と「どちらかといえば大切だと思う」を合わせた『大切だと思う』は、98.0%となっている。

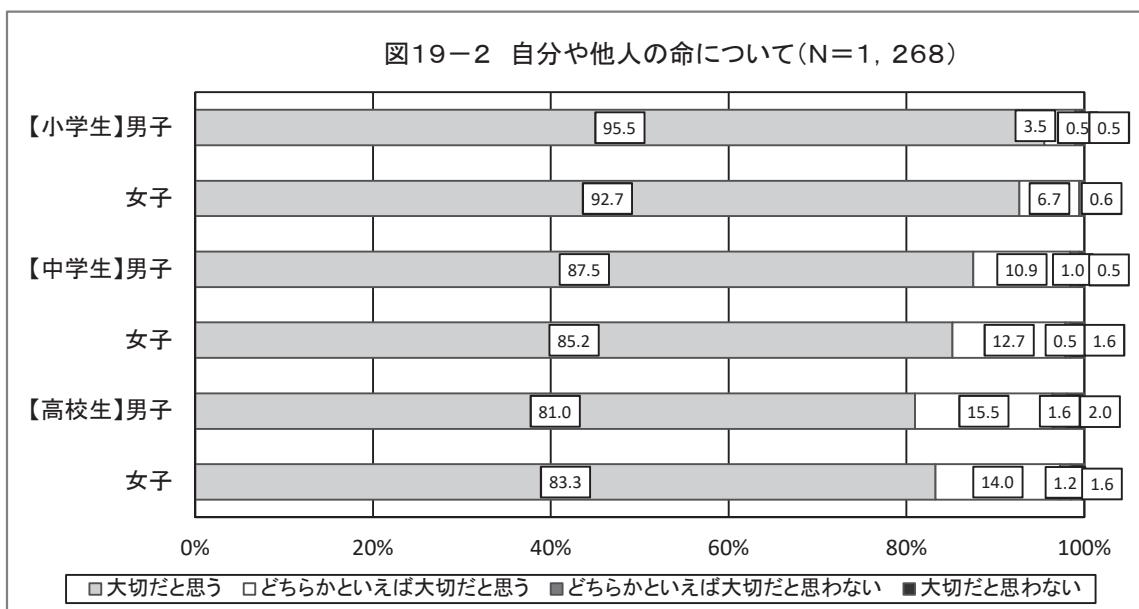
### 【学校種別集計結果】

『大切だと思う』を見てみると、小学生が99.2%で最も高く、以下、中学生(98.2%)、高校生(96.8%)となっている。



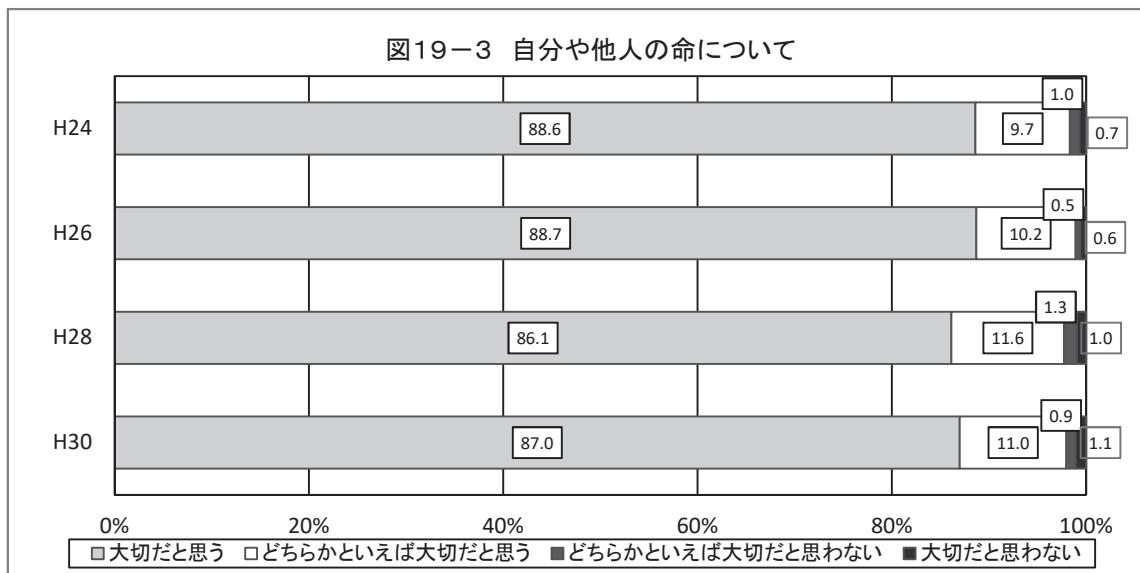
### 【属性別集計結果】

『大切だと思う』を見てみると、小学生女子が99.4%で最も高い。また、全てにおいて男女の差はあまり見られない。



## 【経年変化】

『大切だと思う』については、おおむね98%前後で推移している。



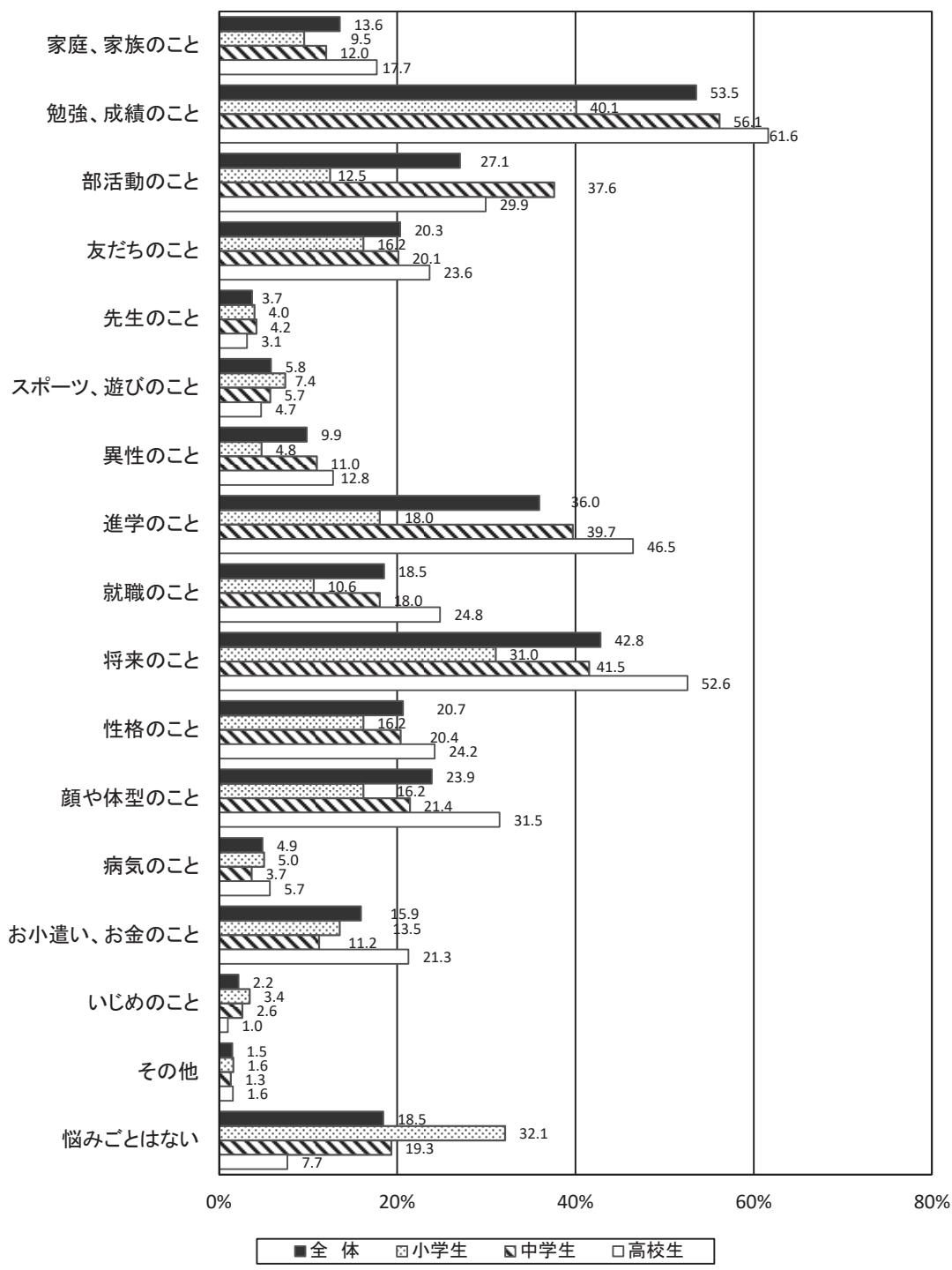
## < 悩みごと >

問12 あなたには、どんな悩みごとがありますか。あてはまるものを、1~16の中から、いくつでも選んでください。ない場合は、17を選んでください。

### 【全体集計結果】

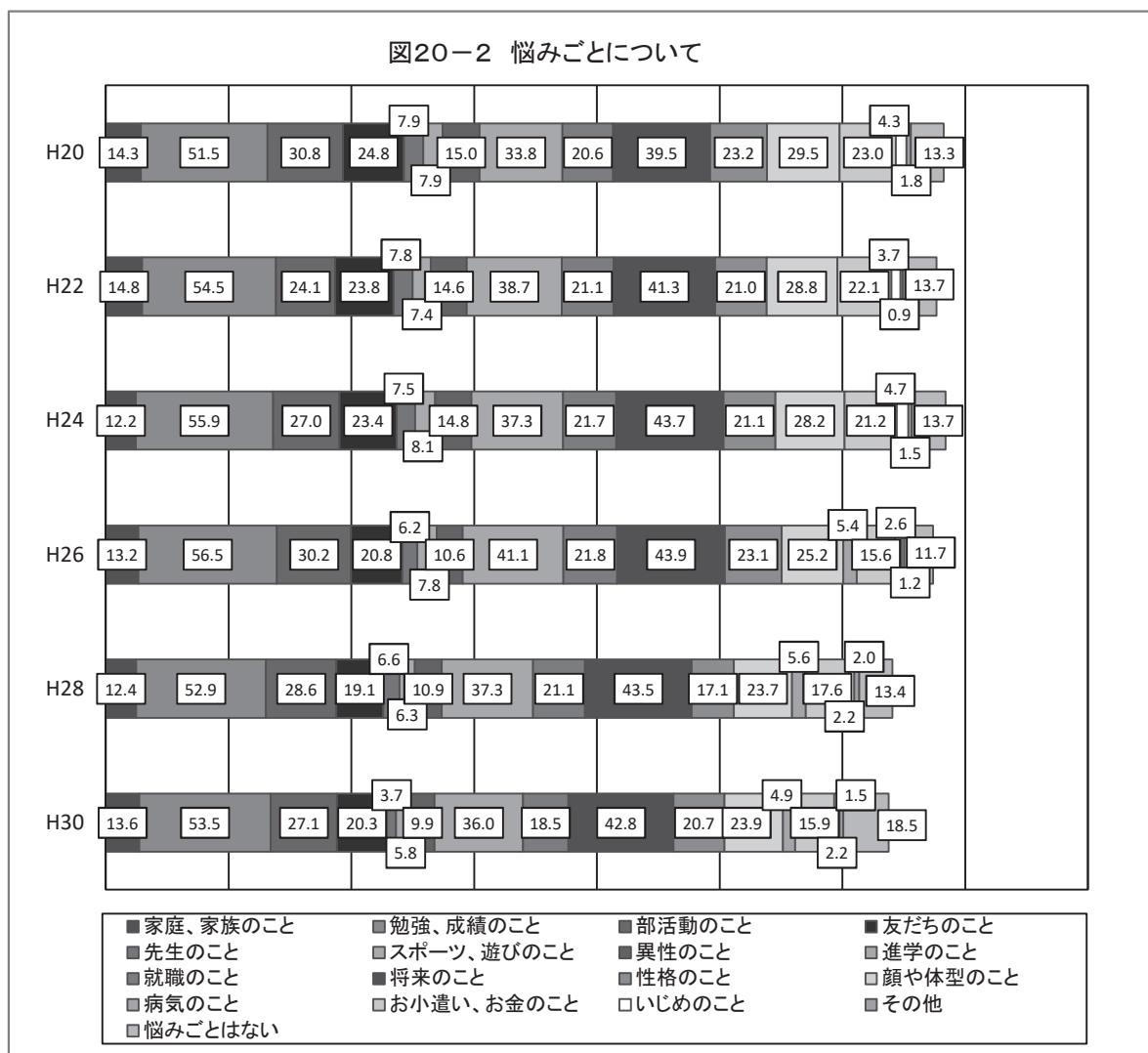
どんな悩みごとがあるかについて尋ねたところ、「勉強、成績のこと」が53.5%で最も高く、以下、「将来のこと」(42.8%)、「進学のこと」(36.0%)などとなっている。

図20-1 悩みごとについて(N=1,268)



## 【経年変化】

「勉強・成績のこと」「進学のこと」「将来のこと」の割合が依然として高くなっている。



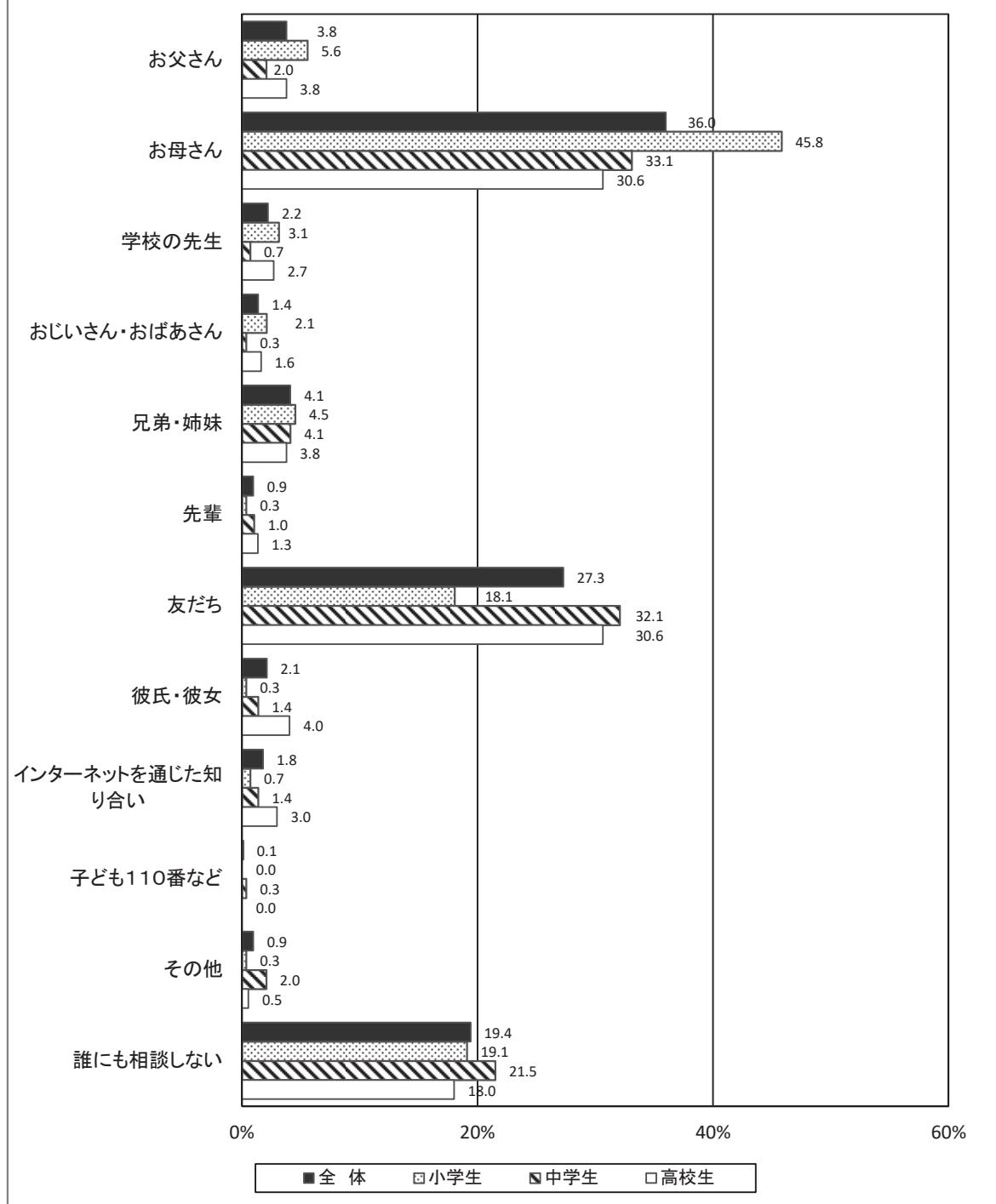
## < 悩みごとの相談相手 >

問13(1) あなたがいろいろなことを相談する相手は誰ですか。あてはまるものを、1~11の中から、一つ選んでください。相談しない場合は12を選んでください。

### 【全体集計結果】

いろいろなことを相談する相手は誰かについて尋ねたところ、「お母さん」が36.0%で最も高く、以下、「友達」(27.3%)、「誰にも相談しない」(19.4%)などとなっている。

図21-1 悩みごとの相談相手(N=953)



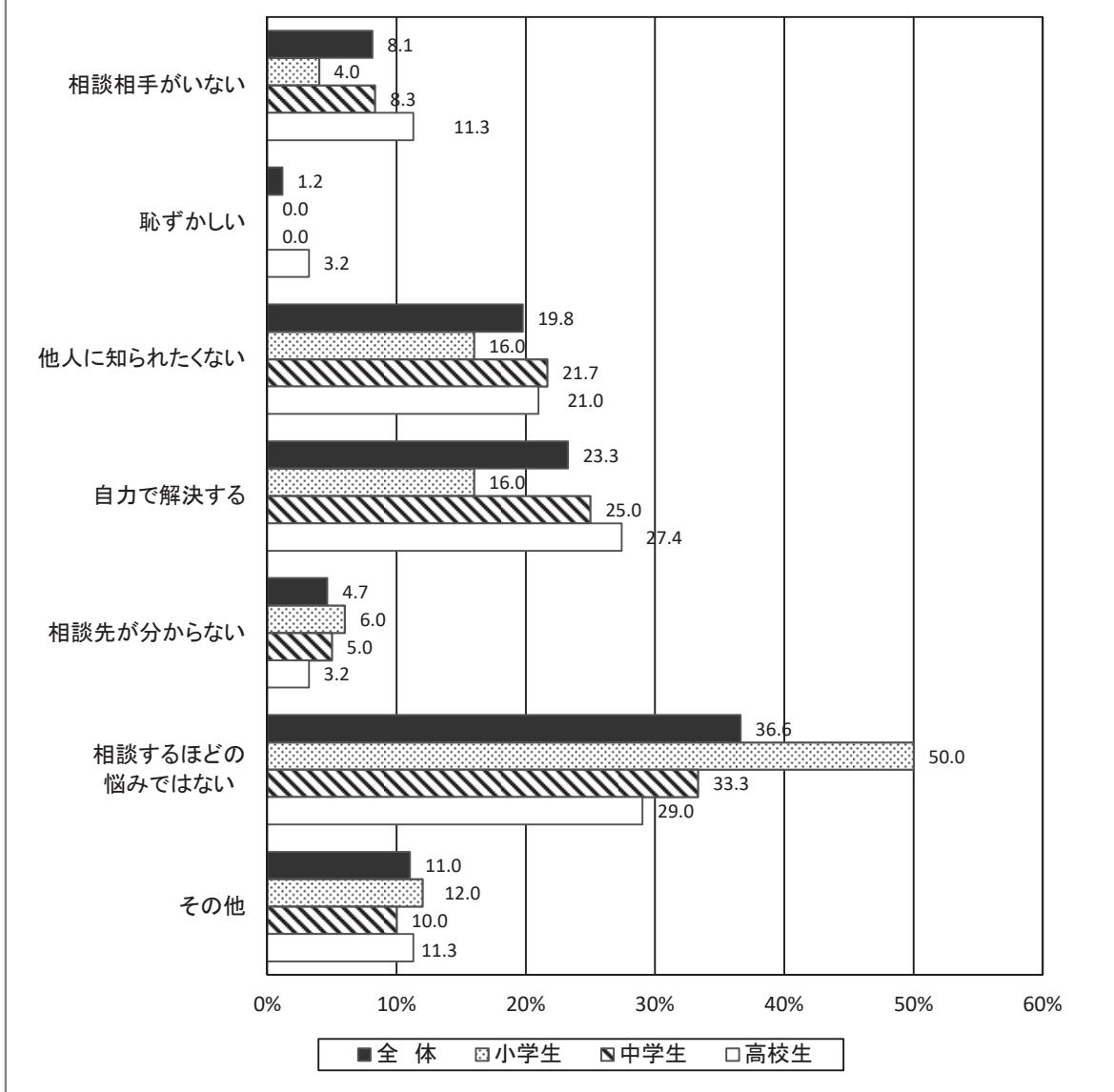
## <相談しない理由>

問13(2) (1)で「12 誰にも相談しない」を選んだ人はお答えください。それはなぜですか。  
あてはまるものを一つ選んでください。

### 【全体集計結果】

誰にも相談しない理由について尋ねたところ、「相談するほどの悩みではない」が36.6%で最も高く、以下「自力で解決する」(23.3%)、「他人に知られたくない」(19.8%)などとなって いる。

図22-1 相談しない理由(N=172)



### 【経年変化】

過去の調査と比較すると、「自力で解決する」が減少している一方、「相談するほどの悩みではない」が増加している。

図22-2 相談しない理由

